

## 令和5年度(2023年度) 第3回 函館市地域学校協働活動連絡会議 会議録

日 時	令和6年2月27日(火) 13:30~15:50
場 所	函館市民会館2階 小会議室2
参加者	工藤委員, 梅田委員, 京谷委員, 酒井委員, 齊藤委員, 高田委員, 吉村委員, 干山委員, 中村(和)委員, 田中委員(10名)
事務局	小棚木学校再編・地域連携課長, 井本主査, 石川主任主事(3名)
傍 聴	なし

### 1 開 会

#### (事務局)

本日はご多用の中、お集まりいただきありがとうございます。定刻となりましたので、ただいまから、令和5年度(2023年度)第3回函館市地域学校協働活動連絡会議を開会いたします。

今回の会議では、お集まりいただいた、地域コーディネーターの皆様、今年度の活動状況等について振り返りながら、本市の地域学校協働活動推進活動の次年度の方向性等について、検討を行いたいと考えております。

本会議につきましては、函館市情報公開条例第26条の規定に基づき原則公開となります。本日の議事等につきましては、非公開となる内容がないと考えられますので、全ての会議が公開となりますがよろしいでしょうか。

—異議なし—

会議終了後には、発言要旨を取りまとめた会議録を作成し、公表することとなっておりますので、ご承知おきください。会議録につきましては、後日、出席された委員全員に確認していただく予定であります。

ここからの司会・進行は工藤座長にお願いします。

### 2 今後の方向性等に係る検討

それでは、次第に基づき進めたいと思います。

次第2の「今後の方向性等に係る検討」に入りたいと思います。

今回は、「今年度の活動を振り返って」、「次年度の取組の見通し」の2点につきまして、地域コーディネーターの皆様からご意見をいただきと思っています。

#### (齊藤地域コーディネーター)

学校の方から防災教育をやってほしいという依頼を受けまして、3月にやらせていただくことになりました。その他にも、来年度は6月か7月で、中学生の職場体験の前段教育をしたいと学校から相談があって、そういうことができる方を紹介してほしいということで、私を含め8人の準備が完了しています。まだ詳細は決まっていますが、今準備をしているところです。

先ほどの研修で、「通学路で子どもが騒ぐ」という話がありましたが、子どもの声のする町に住んでいる方が楽しいと思うし、やはり私たちもそうやって育ててきたと思うんです。子どもの笑顔や笑い声といったものが、町の活性化につながると思うので、そこは大事にしていきたいなと思っています。

#### (干山地域コーディネーター)

桔梗中は人数も多いし、PTAもしっかりやっているのだから、依頼はそんなになんませんが、町会と包括支援センターが学校といっしょに何かやりたいということで、去年の7月30日に地域のマルシェをして、ボランティアとして、桔梗中学校の生徒が25人が運営の手伝いに来てくれて、すごい働いてくれました。やはり子どもたちは認められたいんです。子どもたちは人の役に立ちたいと思っているんです。社会に自分を必要とされたい、必要とされるんだっていう気持ちを子どもの頃から持つことをすごく大事に育ててあげたいと思うので、そういうイベントなどを体験させてあげるといっても非常に良いと思っています。

今日の研修でも話がありましたが、輪投げみたいな「昔遊び」をやっていると聞いたんですけど、逆に「今遊び」というのをやって、今の子どもたちはこういうもので遊んでるんだなって知ってもらえるのもすごく良いと思っています。子どもからの視線も必要だなと思いました。

#### (中村(和)地域コーディネーター)

今年度は、11月に行われた「大森浜教育の日」の2年生の授業を学校運営協議会委員のメンバーで担当して、大森浜小学校の見守り隊で関わってくださっている町会の方を招いて、どういう気持ちで見守り隊の活動をしているんですかという子どもたちの質問に対して答えるという授業と、身近な物を使って、自分で手作りのおもちゃを完成させて、それで遊ぼうという二つの授業を交互に行って、それがすごく評価していただけたのか、次年度も、1年生から3年生の卒と4年生から6年生までの卒で同じように企画してほしいという先生方の声が出ているというのを学校運営協議会で聞いたので、地域コーディネーターの皆さんからや先ほどの研修で得た色々な情報を参考にして進めていきたいなと思っています。

見守り隊については、引き続き、新1年生向けに案内を出して、少しずつその隊員を増やしています。次年度もそういう形になるかと思っています。

#### (酒井地域コーディネーター)

私は町会の役員として、町会の企画と運営もやっていて、地域コーディネーターをやる前から学校とのつながりもあったので、今日の研修を聞きながら、このまま頑張っていけばいいのかなと思いました。それと、もっと子どもたちの力を借りなければいけないかなという反省もさせていただきました。

五稜郭中学校については、ずっと防災訓練はやっていたんですけども、子どもたちにも、自分たちが災害に遭った場合、自分たちの力も必要なんだよということを知らせたいという意味で、非常食づくりとして、一緒にカレーを作っていました。学校の授業として2コマもらって、授業の中で防災訓練をしました。自分たちだけではできないものもあるので、今回も函館市の職員や、地域の防災士など、色々なところに声をかけました。地域や周りとのつながりをこれからも大事にしていくことが、これからの子どもたちには必要なのかなと思いました。あと、子どもたちから「私もひとつの企画と運営のすべてをやりたい」という声が上がったこともすごくよかったなと思っています。なので、これからも、子どもたちの力を尊重しながら、協力していきたいと思っています。

小学校に関しましては、本の読み聞かせや、学びカフェとして勉強会を開いたりしていますので、そうやってつながりを持ちながら活動していきたいというのと、さらにもっともつつながりを持つと、小学生でもできるような活動ができるなと思っていますので、さらにつながりを持って、皆さんに協力を仰いでいきたいと思っています。

#### (田中地域コーディネーター)

うちは高校なので校区がないので、町会との連携というよりも、地域にある企業との連携という意味で、4月に入学したての1年生に社会人講話をしてほしいという話があって、自分も含めて5人のバラエティーに富んだ方々に集まっていたいただきました。その後、担当の先生と、今回は社会人講話だったので聞くことが中心になったんですけど、他校みたいに社会人とワールドカフェ形式にしてもおもしろそうですねという話になったので、来年度はそういう形で考えていました。

#### (吉村地域コーディネーター)

私はずっと4つの大きな取組を中心に活動していて、1つが中部高校の生徒さんによる学習サポート会で、今年も108名の生徒さんが参加してくださいました。大々的に行うことができ、毎回継続的に参加してくれている生徒もいて、大変ありがたいなと思っています。先ほどお話ししていた方がいましたが、子ど

もたちも認められたいんだなというというのは、すごく感じます。利他的とはどういうことかを実感するために来てるとというのがよく伝わってきて、私はそれを見ることが生きがいのようになっていて、こちらの方が感謝しています。

それから、地域ボランティアによる図書館の運営は継続してしっかりやっています。

そして、秋の講演会も、今年の内容も既に決定していますので、引き続き行っていきます。

先日は、地元の神社に中学生たちの絵馬を奉納する祈願祭を行いました。コロナでずっと学校運営協議会だけで行っていたのですが、久しぶりに生徒が参加できてよかったなと思います。

先生方にもボランティアとして活動に参加してほしいという声もあるようでしたが、私は、先生には生徒の方を向いていただきたいと強く思っています。

#### **(梅田地域コーディネーター)**

私たちは子どもファーストという言葉を使うのですが、子どもたちに何かをしてもらうという意味でのファーストで、すべて子どもにお任せしてみるという発想はなかったです。皆さんの話から、子どもたちも認められたいという思いでボランティアに参加してくれて、すごく力を発揮してくれるということを知ったので、今年はそのあたりに軸を置いていきたいなと思っています。去年は地域の防災ということで学校と地域が協働してやりましたが、今年はこちらにプラスアルファしていきたいなと思っています。

今年度変えたことは、定例会に警察などに講師に来てもらって、その後に話し合いを持ったことです。今年も引き続き、学校と連携して、学校の声をなるべく引き出せるように頑張りたいと思います。

#### **(高田地域コーディネーター)**

私は今年度から地域コーディネーターをやらしてもらいましたが、地域コーディネーターとしての初めての仕事として、取り組み内容としましては、戸井幼稚園さんから、長年使ってきてボロボロになった大きな木の積み木があって、先生方が一生懸命木のささくれみたいのをとっていたのを、地域の協力でなんとかならないかという相談があり、地域の町会さんの協力の調整や、地域コーディネーターの予算で幼稚園では用意できないものを用意したりして、問題解決の調整をさせてもらいました。

戸井学園からは、夏休みと冬休みの各2日間の時間の中で福祉教育を中心にした企画をしてほしいという話があって、今年度初めて認知症サポーター養成講座や車いすの取り扱い、介護ロボット体験など、市の社協でやっているノーマリー教室を活用して取り組ませてもらいました。他にも、冬休み中に、以前やっていた餅つき

を多世代交流の形でやってみようとなつて、高齢者のボランティアと子どもたちが交流しながら、昔ながらの餅つきを体験するような企画をさせていただきました。2日目に関しては、高齢者の栄養の話から、前日作った餅を活用して、管理栄養士の先生に、戸井地区のコンブ出汁の文化の大切さを絡めて話してもらいました。次年度も同じような形で、定例的にできればということで学校とも話していたので、その調整をしていきたいと思います。あと、餅つきに関しては、地域的にも高齢化だけじゃなくて、人口減少もすごく進んでおり、若い人の支えもすごく大事な地域なので、お父さん、お母さんにももっと関わりながらやっていければなと思っています。

**(工藤座長)**

青柳ネットでは、今年はコロナ明けということで、例年の社会人講話や包括支援センターの福祉教育を実施しました。今年度の新しい取組としては、学校運営協議会でも地域との防災教育ができないかという話があったことから、あさひ小学校に協力してもらい、地域の町会を対象に、防災体験会という形で、テントやベッドの作成を行いました。次の段階では中学校でもやってほしいという声もあったので、中学校の生徒にも参加してもらって、またやっていきたいと思っています。また、地域ボランティアという形で、包括支援センターあさひさんからお祭りのお手伝いの依頼があって、中学生8名が参加してくれました。青柳町会のバザーの手伝いには、青柳小学校の児童のべ8名が参加してくれました。参加した子どもたちは一生懸命活動し、その様子を見た大人が褒めることで、ますますやる気を出していました。子どもたちの自己有用感を高められる場にもなったかなと感じました。さらに色々な町会さんと連携を進めていければいいなと思っています。

**(京谷地域コーディネーター)**

地域コーディネーターになったこの2年で色々活動させてもらったのですが、先輩の地域コーディネーターさんたちに教えてもらいながらのスタートだったので、地域コーディネーターどうしの横のつながりや情報交換がこれからもできたらありがたいです。

**(工藤座長)**

他に何かありますか。

**(吉村地域コーディネーター)**

学校運営協議会委員というのはCS活動の推進委員なので、地域コーディネーターが何もかもやるのではなくて、役割分担をしていって、先生方をお願いする前に、学校運営協議会の委員でできることはしていこうという方向に行けばいいんじゃないかなと思っています。

**(工藤座長)**

ありがとうございました。事務局にお戻しします。

(事務局)

ありがとうございました。

### 3 閉会

(事務局)

工藤座長，ありがとうございました。

本日，地域コーディネーターの皆様からいただいたご意見をもとに，次年度の方向性などについて，事務局で検討してまいりたいと思います。

それでは，課長からご挨拶申し上げます。

(学校再編・地域連携課長)

今年度は，アフターコロナへの転換に伴い，以前の取組を再開したり，新たな取り組みを求められたり，あわただしさや困難さ等を感じながらも，工夫を凝らしてその役割を担ってくださったことに改めてお礼申し上げます。

令和6年度も引き続き地域コーディネーターを担ってくださいます皆様，お世話になります，どうぞよろしく願いいたします。本当にありがとうございました。

(事務局)

来年度につきましても地域コーディネーターの拡充が予定されており，新たに地域コーディネーターを数名配置される見通しとなっております。

なお，今年度，共にご活動いただきました地域コーディネーターの皆様の中にも，今年度いっぱいでご勇退なさる方がおりましたので，お知らせするとともに，一言いただければと思います。

(本日会議欠席の中の沢小担当の吉田地域コーディネーター，恵山中・えさん小担当の広島地域コーディネーターについて，今年度末でご勇退のお知らせ。各地域コーディネーターからのメッセージ代読)

最後に，工藤座長から，一言お願いします。

(工藤座長)

この会ですけれども，このように定期的に集まって，それぞれの取組を教えていただいて，自身の取組の参考にさせていただいていました。来年もまた地域コーディネーターが増えて，またそれぞれ地域の取組が始まると思いますが，この会も大切にさせていただきながら，またそれぞれの地域の活性化に努めていただければありがたいなと思います。

(事務局)

ありがとうございました。

ご勇退されます方々につきましては，配置校とその地域のパイプ役としてご尽力いただき，誠にありがとうございました。

今後のご活躍をご祈念するとともに、引き続き、私どもの活動を見守っていただければと思います。

それでは、以上をもちまして、令和5年度(2023年度)第3回函館市地域学校協働活動連絡会議を終了いたします。本日はありがとうございました。